

## 1. 現在の課題

多治見市は、日本有数の暑いまちで熱中症リスクの高いまちだが、熱中症で亡くなった方はここ10数年0人であり、熱中症対策がしっかり行われているまちであるといえる。

しかし、行われているであろう個々、また事業レベルでの対策が市民全体で共有しているとはいえないため、各々が行っている様々な対策を市民また市外・県外の熱中症対策が必要な地域にも共有し、多治見での実施対策を広め全国的な熱中症リスクを低下させる必要がある。

## 2. 取り組み内容-1

### 『熱中症対策のみえる化』

課題解決のため、多治見市内で行われている様々な熱中症対策を取りまとめ下記方法で発信し共有する。

#### ①熱中症対策情報の取りまとめと課題

熱中症対策の取り組みを以下の方法で発信する。

- ・一般社団法人多治見市観光協会は運営する情報サイトを活用し、取材し取りまとめた情報を**記事として制作し発信**する。
- ・取材した店舗の中で異なる方向性の熱中症対策で数種類の**紹介動画**を制作しYOUTUBEにて発信する。
- ・**事業共通のロゴ**を制作し、熱中症対策実施事業者に配布しまち全体での一体感を演出する。
- ・今年度11月に再開発による複合施設が完成する多治見駅前商店街においては、**街路灯フラッグ**も上記ロゴで制作し、来街者への周知に繋げる。

#### ②暑さ対策博覧会の開催

夏休みの期間に子ども向けの熱中症に関する「まなびの場」を作るべく、多治見駅前の広場にて企画を開催する。企画には、色々な事業者(飲料、エネルギー、やきものなど)に出店いただき、様々な角度から熱中症対策を学べるものとする、また、企画内で小中学生による**熱中症予防アイデアコンテスト**も行い、参加者が当事者になれるような工夫を凝らす。



会場とする予定の虎渓用水広場では夏場に噴水が出ており、子ども連れで賑わう。

## 2. 取り組み内容-2

### ③高齢者向けの情報発信

サイト閲覧に結びつきづらい高齢者にも情報を届けるべく、**地域ケーブルテレビ及びコミュニケーラジオとタッグ**を組み、取り組みをしている事業所を訪問するような番組を制作し夏の期間放送する。

### ④一般社団法人アツいまちとの連携

一般社団法人アツいまちが開催する、「アツいまちサミット」へ参加し取り組みを発表することで、メディアへの露出機会を増やす。また、同団体が運営するHPとも連携し効果的な情報発信を行う。



アツいまちサミットはメディアへの露出も多く、連携して発信することで認知度向上に繋がる。

## 3. 予測される効果

- ①各事業者が行っている**熱中症対策を「みえる化」**することで、多くの市民に熱中症対策を共有できる。
- ②様々な熱中症対策を実施しているまち(熱中症対策先進都市)として対策の記事をサイトにて発信することで**全国へPR**できる。
- ③参加事業所(店舗)のPRに繋がり、**来街者が増加**する。
- ④子どもたちが熱中症について学べる場を提供することで、**子育て世代のネットワークを強化**することができ、将来的に子育てしやすいまちづくりに繋がる。
- ⑤比較的高齢者が視聴する割合が多いと考えられるケーブルテレビを活用することで、地域内の話題作り、近隣住民とのネットワークの構築に繋がり、**独居世帯の安全**を確保することに繋がる。

## 4. 実施スケジュール

5月	打ち合わせ・取材開始	7月	ケーブルテレビ撮影
6月	博覧会内容打ち合わせ 共通ロゴ、紹介動画制作 熱中症予防部会開催	8月	各動画、番組放映 博覧会の開催
		9月～	実施内容の検証